

「心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動」

平成27年度

# 青少年育成のための活動計画書

（「とちぎの子ども育成憲章」行動指針の実践計画）

「心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動」推進本部

---



# とちぎの子ども育成憲章

あすにな こどもたちが 夢と希望を持ち  
こころ豊か たくましく成長することは 県民すべての願いです

わたしたちは 子育てに積極的にかわり  
子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します

わたしたちは

一、子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします

一、子どもたちとのかかわりを深め  
思いやりの心をはぐくみます

一、子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい  
社会の一員としての自覚を育てます

一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します

一、とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り  
子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日

栃木県



# 大人の責任と役割

子どもたちが夢や希望を持ち  
心豊かでたくましく成長するために

## 一人ひとりを尊重し 命を大切に

大人は、子どもたち一人ひとりが自己肯定感を持ち、「自分は大切な存在であること」、「自分の命も他人の命も大切であること」に気づけるよう、子どもたちと向き合しましょう。



## かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ

大人は、子どもたちが「誰もが支えられて生きていること」、「一人では生きられないこと」に気づき、互いの喜びや悲しみ、痛みをともに分かち合えるよう、思いやりの心を育みましょう。

## 社会の一員としての自覚を育てる

大人は、子どもたちとともに様々な経験・体験を通して、学んだり、喜び合ったり、励まし合ったりしながら、子どもたちを社会の一員として自覚を持った人に育てましょう。



## 子どもたちの手本となるよう行動する

子どもたちは、絶えず大人の姿を見ながら成長しています。大人は、家庭や学校、職場、地域などにおいて、子どもたちの手本となる責任ある行動や態度を示しましょう。

## 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ

子どもたちは、先人が守り育ててきた郷土の自然・伝統・文化などから、生きる知恵を学び、人間性豊かに育っていきます。大人は、郷土“とちぎ”の豊かな自然、素晴らしい故郷の伝統・文化を子どもたちに引き継ぎましょう。



栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 TEL:028-623-3075

E-mail: seishonen-danjo@pref.tochigi.lg.jp

栃木県 育成憲章

検索

100



## 1 青少年育成団体

No.	名称	掲載ページ
1	青少年育成河宇地区連絡協議会	7
2	上都賀地区青少年育成対策連絡協議会	7
3	芳賀郡市青少年育成連絡協議会	8
4	下都賀地区青少年育成推進連絡協議会	8
5	那須地区青少年育成推進連絡協議会	9
6	塩谷地区青少年育成連絡協議会	9
7	南那須地区青少年育成連絡協議会	10
8	安足地区青少年育成連絡協議会	10
9	栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団)	11
10	那須烏山市青少年を育てる会	11
11	宇都宮市青少年育成市民会議	12
12	真岡市青少年健全育成連絡協議会	13
13	鹿沼市青少年育成市民会議	13
14	壬生町青少年健全育成実施委員会	15
15	下野市青少年育成市民会議	15
16	日光市青小園健全育成連絡協議会	17
17	那珂川町青少年育成協会	18
18	足利市青少年育成会連絡協議会	18
19	小山市青少年健全育成連絡協議会	19
20	益子町青少年育成協議会	20
21	茂木町青少年育成協議会	20
22	高根沢町青少年健全育成推進委員会	21
23	那須町青少年育成協議会	22

No.	名称	掲載ページ
24	大田原市青少年育成連絡協議会	22
25	野木町青少年健全育成協議会	23
26	矢板市青少年育成市民会議	23
27	上三川町青少年育成町民会議	24
28	佐野市の青少年とともに育つ市民の会	25
29	塩谷町青少年育成町民会議	25
30	さくら市少年指導員会	26
31	栃木市青少年問題協議会	28
32	栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部	28
33	栃木市寺尾地区子ども会育成会連絡協議会	28
34	栃木市大平教育支所	28
35	栃木市大平子ども会育成会連絡協議会	28
36	おおひらっ子ネットワーク	29
37	栃木市藤岡町子ども会育成会連絡協議会	29
38	都賀町のこどもを育む会	29
39	にしかた子どもネットワーク	29
40	岩舟地域青少年育成会議	29
41	那須塩原市少年指導員会	30
42	小山市地区南部・北部子ども会育成会連絡協議会	30
43	一般社団法人 栃木県子ども会連合会	31
44	横川地区こどもとふれあう会	32
45	日光市子ども会連絡協議会	33
46	台新田育成会・子ども会	33

## 2 各種団体

No.	名称	掲載ページ
1	宇都宮市御幸ヶ原町みはら南クラブ(老人会)	34
2	総合型地域スポーツクラブ・ジョータロークラブ	34
3	栃木県更生保護女性連盟	35
4	真岡地区交通安全協会中村支部真岡市中村地区暴走族対策協議会	36
5	栃木県女性団体連絡協議会	36
6	足利剣友会	36
7	社会福祉法人 栃木いのちの電話	36
8	宇都宮市更生保護女性連盟	37
9	佐野市更生保護女性会	37
10	一般財団法人 栃木県交通安全協会	37
11	栃木県小売酒販組合連合会	38

No.	名称	掲載ページ
12	社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会	38
13	公益社団法人 栃木県防犯協会	38
14	公益財団法人 栃木県保健衛生事業団	39
15	栃木県民生委員児童委員協議会	39
16	栃木たばこの会	39
17	富張日の出連	39
18	自然体験塾運営委員会	39
19	国立大学法人 宇都宮大学	40
20	那須こども自然塾那須塩市「みちくさの会」	40
21	佐野若竹子ども太鼓	41
22	鹿沼市ジュニアフィルハーモニーオーケストラ	41

## 3 一般企業

No.	名称	掲載ページ
1	石川建設株式会社	42
2	岩下食品 株式会社	42
3	(株)かましん	43
4	国際総合デザインイラスト研究所 日東広告企画開発機構	43

No.	名称	掲載ページ
5	中村土建株式会社	43
6	富士重工業(株)宇都宮製作所	44
7	文化シャッター(株)小山工場	44

#### 4 行政機関等

No.	名称	掲載ページ
1	「心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動」推進本部	45
2	宇都宮市	46
3	足利市	47
4	栃木市	49
5	佐野市	50
6	鹿沼市	51
7	日光市	53
8	小山市	54
9	真岡市	55
10	大田原市	56
11	矢板市	57
12	那須塩原市	59
13	さくら市	60
14	那須烏山市	62
15	下野市	63
16	上三川町	64
17	益子町	65
18	茂木町	65
19	市貝町	66
20	芳賀町	67
21	壬生町	68

No.	名称	掲載ページ
22	野木町	69
23	塩谷町	71
24	高根沢町	72
25	那須町	73
26	那珂川町	74
27	市町村課	75
28	博物館	75
29	人権・青少年男女参画課	75
30	とちぎ男女共同参画センター	76
31	林業センター	77
32	林業振興課	77
33	環境森林政策課	78
34	自然環境課	78
35	那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所	78
36	企業局地域整備課	79
37	教育委員会事務局	79
38	宇都宮中央警察署管内少年指導委員会	81
39	宇都宮東警察署管内少年指導委員会	81
40	宇都宮南警察署管内少年指導委員会	81
41	小山警察署管内少年指導委員会	81
42	足利警察署管内少年指導委員会	82

#### 4 行政機関等

No.	名称	掲載ページ
43	栃木警察署管内少年指導委員会	82
44	那須塩原警察署管内少年指導委員会	83
45	佐野警察署管内少年指導委員会	83
46	鹿沼警察署管内少年指導委員会	83
47	真岡警察署管内少年指導委員会	84
48	下野警察署管内少年指導委員会	84
49	大田原警察署管内少年指導委員会	84
50	今市警察署管内少年指導委員会	85
51	さくら警察署管内少年指導委員会	85
52	矢板警察署管内少年指導委員会	85
53	日光警察署管内少年指導委員会	86
54	那須烏山警察署管内少年指導委員会	86
55	茂木警察署管内少年指導委員会	86
56	那珂川警察署管内少年指導委員会	87
57	宇都宮中央地区職場警察連絡協議会	87
58	宇都宮東地区職場警察連絡協議会	87
59	宇都宮南地区職場警察連絡協議会	87
60	小山地区職場警察連絡協議会	88

No.	名称	掲載ページ
61	足利地区職場警察連絡協議会	88
62	栃木地区職場警察連絡協議会	88
63	那須塩原地区職場警察連絡協議会	88
64	佐野市職場警察連絡協議会	89
65	鹿沼地区職場警察連絡協議会	89
66	真岡地区職場警察連絡協議会	89
67	下野地区職場警察連絡協議会	89
68	大田原地区職場警察連絡協議会	90
69	今市地区職場警察連絡協議会	90
70	さくら地区職場警察連絡協議会	91
71	矢板地区職場警察連絡協議会	91
72	日光地区職場警察連絡協議会	91
73	那須烏山地区職場警察連絡協議会	92
74	茂木地区職場警察連絡協議会	92
75	那珂川地区職場警察連絡協議会	92

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
1	青少年育成河宇地区連絡協議会	平成27年度善行児童・生徒等表彰	各学校より1名、1グループの推薦を受け、表彰する。また、市町長または教育長より優良子ども会、優良青少年団体、優良青少年育成会等の推薦を受け、表彰する。	平成28年2月中旬		河宇地区内全小・中学校118校	指針全般
		第2回青少年育成指導員等研修会	河内教育事務所と共催(PTA指導者研修Ⅰ)で実施する。講演会を実施する。	平成27年6月25日	栃木県総合教育センター	300名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		栃木県少年の主張発表河宇地区大会	河宇地区全中学校より選出された生徒による主張発表を行う。また、記念文集を発行し、全中学校、本会会員等に配布する。	平成27年8月21日 文集11月上旬	とちぎ青少年センター	発表者33名 参加者150名	指針全般
		立入調査	栃木県青少年育成条例に基づく立入調査を実施する。	平成27年7月・11月	宇都宮市 上三川町	延べ約40名	手本となるよう行動する
		第3回青少年育成指導員等研修会	青少年育成指導関係者を対象に、青少年健全育成、思いやり、人権などについて講演会を開催する。	平成27年11月26日	栃木県研修館	200名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
2	上都賀地区青少年育成対策連絡協議会	第1回青少年育成指導員等研修会	上都賀地区主任児童委員研修会を兼ねて実施。青少年健全育成に関わる活動をしている人たちを対象として、講演会の開催及びグループ討議による情報交換を行う。	平成27年6月23日	鹿沼市民情報センター	約70名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		立入調査	有害図書等の区分陳列の適正な実施についての調査や携帯電話のフィルタリング等の正しい対応の確認を通して、青少年を取り巻く環境浄化を図る。	平成27年7月3日 7月9日 11月5日 11月6日 随時(日光・鹿沼市内)	日光市内 鹿沼市内 日光市内 鹿沼市内	延べ約80名	手本となるよう行動する
		少年の主張発表上都賀地区大会	上都賀地区管内各中学校より選出された生徒による意見発表会を行う。また、記念文集を作成し、管内各中学校及び関係機関・関係者に配布し、中学生の意見発表をより多くの人へ周知を図る。	平成27年8月29日	鹿沼市民文化センター	約200名	社会の一員としての自覚を育てる
		第2回青少年育成指導員等研修会(視察研修)	上都賀地域において、青少年健全育成活動をしている人たちを対象として、活動内容に関わりのある施設・機関の訪問を行う。この活動を通して、知識を広め、情報を共有して今後の活動に役立てる。	平成27年12月9日	栃木方面 栃木刑務所など	約20名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ



No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
3	芳賀郡市青少年育成連絡協議会	「家庭の日」推進研修会	家庭の教育力向上とPTAの今日的役割や望ましい在り方についての研修を実施する。	平成27年6月13日	益子町民会館	250名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		立入調査	有害図書等販売店の立入調査を行い、青少年を取り巻く環境の浄化を図る。	平成27年7月・11月	管内1市4町	60名	手本となるよう行動する
		少年の主張発表 芳賀地区大会	芳賀地区中学校、特別支援学校の代表生徒による主張発表を行う。また、記念文集を発行する。	平成27年8月27日	真岡市 青年女性会館	150名	社会の一員としての自覚を育てる
		児童問題研修会	次代を担う青少年が、心身ともに健康で心豊かに成長できるよう、支援するための研修を実施する。	平成28年1月19日	真岡市民会館	250名	一人ひとりを尊重し命を大切にす
4	下都賀地区青少年育成推進連絡協議会	「とちぎの子ども育成憲章」の唱和	「とちぎの子ども育成憲章」ちらしの配布と斉唱による啓発活動を実施する。(下青少協総会・研修時の折に実施) (少年の主張発表下都賀地区大会閉会式時に実施)	平成27年5月21日 平成27年8月21日	栃木県庁小山庁舎4階会議室 小山市立文化センター	約50名 約200名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		第1回研修会	平成27年度下都賀地区青少年問題研修会(兼下都賀地区青少年育成指導員等研修会) 演題:「児童相談の現状と対応について」 講師:栃木県南児童相談所長 田村 隆 氏	平成27年5月21日	栃木県庁 小山庁舎 4階会議室	約50名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		立入調査	第1回広域立入調査の実施 ・7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の折に実施。 第2回広域立入調査の実施 ・11月の「子ども・若者育成支援強調月間」の折に実施。	平成27年7月22日 平成27年11月19日	3市2町(栃木市・小山市・下野市・壬生町・野木町)を4班編成にて実施	延べ約50名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年育成指導員等自主研修	青少年育成指導員・育成アドバイザー自主研修 栃木市(都賀町)青少年健全育成町民会議の実施状況をもとに意見交換	平成27年11月6日		15名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		少年の主張発表 下都賀地区大会	第38回栃木県少年の主張発表下都賀地区大会の実施(下都賀管内36校対象:参加校34校)、記念文集の発行	平成27年8月21日	小山市立文化センター小ホール	約200名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
4	下都賀地区青少年育成推進連絡協議会	第2回研修会	平成27年度下都賀地区青少年育成推進連絡協議会構成員等研修会(兼第2回青少年育成指導員等研修会) 宇都宮少年鑑別所視察研修	平成27年12月4日		約40名	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
5	那須地区青少年育成推進連絡協議会	立入調査	栃木県青少年健全育成条例に基づき立入調査を実施する。	平成27年7月・11月	管内3市町	延べ約60名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		第1回研修会	第1回青少年健全育成研修会 ～心豊かでたくましいとちぎの青少年の育成～ 「人間関係の発達と育ちの場 家庭・地域・学校」	平成27年7月23日	那須町文化センター小ホール	約100名	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		少年の主張発表 那須地区大会	第38回少年の主張発表那須地区大会の実施及び記念文集の発行	平成27年9月10日	大田原市総合文化会館	約250名	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		青少年指導員研修会	管内市町の青少年指導員等を対象に少年非行の現状と健全育成対策について講演	平成27年9月29日	大田原市総合文化会館2階会議室		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		第2回研修会	第2回青少年健全育成研修会 ～心豊かでたくましいとちぎの青少年の育成～ カウンセラーが身近な相談事例から少年達の心情を代弁する	平成27年10月15日	那須塩原市三島ホール	約250名	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
6	塩谷地区青少年育成連絡協議会	優良青少年団体等表彰	優良青少年団体等を表彰する。	平成27年5月19日	矢板健康福祉センター	4団体	豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		立入調査	青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施する。	平成27年7月16日 平成27年11月12日	矢板市、さくら市 高根沢町、塩谷町	約20名 約20名	手本となるよう行動する
		少年の主張発表 塩谷地区大会	少年の主張発表塩谷地区大会を開催する。	平成27年9月11日	さくら市立喜連川中学校	約320名	社会の一員としての自覚を育てる
		青少年育成指導員等研修会	青少年の健全育成指導・非行防止に関する研修会を開催する。	平成27年11月26日	矢板健康福祉センター	約40名	一人ひとりを尊重し命を大切に

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
7	南那須地区青少年育成連絡協議会	第1回研修会	那珂川警察署長の講話 「青少年非行の現状とその背景」	平成27年5月14日	栃木県庁南那須庁舎	42名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		第1回立入調査	栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施し、有害環境浄化活動を推進する。	平成27年7月9日		9名	手本となるよう行動する
		少年の主張発表南那須地区大会	南那須地区中学校生徒4名による主張発表会を行うとともに、記念文集を発行する。	平成27年9月12日		約200名	社会の一員としての自覚を育てる
		第2回立入調査	栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施し、有害環境浄化活動を推進する。	平成27年11月9日		9名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		第2回研修会	未定	平成28年2月16日	栃木県庁南那須庁舎	約50名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
8	安足地区青少年育成連絡協議会	安足地区青少年育成連絡協議会総会	安足地区内の関係機関及び団体が相互に連絡協調情報の交流を行うとともに、青少年に関する諸問題を協議し、青少年の健全な対応を図る。	平成27年6月2日	安足健康福祉センター	27名	指針全般
		安足地区青少年育成連絡協議会会員等研修会	青少年の健全育成について、会員等の理解を深める。	平成27年6月2日	安足健康福祉センター	27名	一人ひとりを尊重し命を大切にする社会の一員としての自覚を育てる
		安足地区PTA指導者研修及びいじめ防止地域アクションミーティング	県安足教育事務所と共催。豊かな心を育てるPTA活動を考える。	平成27年7月23日	佐野市文化会館	282名	一人ひとりを尊重し命を大切にする手本となるよう行動する
		安足地区青少年育成連絡協議会視察研修会	青少年問題について、会員の理解を深める。	平成27年10月21日	宇都宮少年鑑別所 栃木DARC	約15名	社会の一員としての自覚を育てる手本となるよう行動する
		民生委員・児童委員等研修会	県安足健康福祉センターと共催。地域の福祉サービスを理解し、青少年問題の解決に活用する。	平成28年1月下旬	未定	約500名	一人ひとりを尊重し命を大切にするかかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		立入調査強化事業第1回	県青少年健全育成条例第52条に基づく立入調査。携帯電話等販売店を対象に、フィルタリングサービス等を調査する。	平成27年7月16日	足利市・佐野市	11名	社会の一員としての自覚を育てる
		立入調査強化事業第2回	県青少年健全育成条例第52条に基づく立入調査。自動販売機、複合カフェ、図書等販売等を調査する。	平成27年11月12日	足利市・佐野市	約15名	社会の一員としての自覚を育てる
		少年の主張発表安足地区大会	中学生が感じていること、考えていること等を発表することにより、自主性を育てるとともに、大人への理解と関心を深める。	平成27年9月2日	足利市民会館	24校 24名	指針全般

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
9	栃木県青少年育成 県民会議  (公財)とちぎ未来 づくり財団	少年の主張発表 県大会の開催	中学生としての誇りと自主性を育てるため、各地区で「少年の主張発表大会」を実施し、その代表者16名により県大会を開催する。 ※県、県教委主催、県更生保護女性連盟共催	平成27年9月19日	栃木県総合文化センター	約400名	社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		親子学び合い事業	生活が乱れたり犯罪に巻き込まれたりしないようにするため、携帯電話の特性と正しい利用法についての講習会を開催する。	随時	各学校等	小中学校や特別支援学校の児童生徒とその保護者等	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
10	那須烏山市青少年 を育てる会	夏季環境点検	青少年の非行・被害防止強調月間に際して、青少年のたまり場になりやすい箇所、犯罪が発生するおそれのある箇所を地元駐在所警察官の同行のもと点検し、青少年非行や犯罪の抑止を図る。	平成27年7月15日	各地区協議会 役員、駐在所 警察官	10名	一人ひとりを尊重し命を大切に する
		環境浄化活動・ 地区内パトロール	本会地区協議会において、自警団の登下校時パトロールや夜回りにより青少年の安全を守る。	通年	境地区・七合地区	40名	一人ひとりを尊重し命を大切に する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
11	宇都宮市青少年育成市民会議	ふれあいのある家庭づくり事業	ポスターの掲示や啓発物の配布を通じた「家庭の日」運動の推進や、宇都宮市「ふれあいのある家庭づくり」作品コンクールの作品審査や周知を通じた一家庭一絆づくり運動の推進など、家族の絆やふれあいの大切さについて、広く啓発する。	通年	市内全域	全市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		宮っこフェスタ2015	子育て・子育てに係る社会全体の機運醸成を目的に開催する「宮っこフェスタ2015」について、実行委員会への参画や運営スタッフとしての参加、構成団体によるブース出展などを行う。	平成27年10月10日	中心市街地各所	全市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年の居場所づくり事業	青少年のコミュニティ形成や自主性、社会性を養うため、地域で青少年が気軽に集まることができ、異世代交流や主体的な活動が出来る「青少年の居場所」について、設置運営を支援する。	通年	市内全域	全市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		青少年育成功労者会長表彰	多年にわたり青少年の健全育成に貢献し、業績が顕著な青少年育成者に対し、功績をたたえ労苦に報いるとともに、青少年健全育成活動の一層の推進を図ることを目的に、会長表彰を実施する。	平成27年10月	オリオン市民広場	市民会議構成団体役員・市民会議役員	手本となるよう行動する
		青少年育成指導者研修会	地域で活動する指導者の資質向上を図ることを目的に、指導者研修会を実施する。	平成27年11月	宇都宮市役所	市民会議構成団体・青少年育成団体会員	手本となるよう行動する
		市民総ぐるみ環境点検活動	子どもの健全育成と地域の安全安心を目的に実施する。「市民総ぐるみ環境点検活動」について、地区における幹事団体として、支援・参加を行う。	平成27年7月	市内全域	地区青少年育成会	手本となるよう行動する
		広報啓発活動	青少年育成市民会議の広報紙である「青いちょう」を発行し、構成団体の紹介や地域における青少年育成活動などについて、広く市民に広報する。	平成28年3月	市内全域	全市民	手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
12	真岡市青少年健全育成連絡協議会	街頭指導	地域の子ども達を犯罪等から守るため、地域住民および管内小・中・高等学校の協力を得て、子どもの下校時刻にあわせて地域内の巡視を行う。	通年	市内全域	延べ800名	一人ひとりを尊重し命を大切にす
		「こども110番の家」看板の管理運営	地域の子ども達を危険から守るため、こども110番の家の看板を作成し、通学路等に設置依頼をする。	通年	市内全域	約1,400名 (看板設置枚数)	一人ひとりを尊重し命を大切にす
		真岡っ子をみんなで育てよう事業	健全育成に関わる講演会およびシンポジウムの実施	平成27年10月 他	真岡市民会館	約1,000名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		社会を明るくする運動への支援	社会を明るくする運動へ参加協力し、啓発物の配布等をする。	平成27年7月5日	市内5会場	40名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		少年犯罪に関する講話の実施	市青少年健全育成連絡協議会総会において、研修として、真岡警察署より講師を迎えて「少年犯罪の現状について」の講話を開催。	平成27年5月28日	真岡市公民館	76名	一人ひとりを尊重し命を大切にす 手本となるよう行動する
13	鹿沼市青少年育成市民会議	各地区青少年健全育成推進啓発活動	あいさつ運動・家庭の日等の啓発活動を実施する。	年間		市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		青少年健全育成研修会	青少年健全育成市民会議主催で、青少年健全育成諸団体に動員をかけ研修会を行う。本年度は、スマートフォンがもたらす危険性とフィルター機能の役割についての講話。	平成27年11月15日		市民約100名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		成人の日のつどい	成人の日実行委員会(19歳・20歳の男女約50名)が、20歳を迎える青年男女の新しい門出を祝福するため企画を行い、成人式を開催する。	平成28年1月10日		新成人約1100名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		子ども会連合会リーダーズ研修(キャンプ事業)	小学校5・6年生を対象としたキャンプ事業。グループ活動を通して様々な体験学習や人的交流を行い、リーダーとして必要な力を養う。※子ども会連合会委託事業	平成27年8月8日～10日(2泊3日)		小学校5・6年生42名	一人ひとりを尊重し命を大切にす 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
13	鹿沼市青少年育成市民会議	青少年ボランティアリーダー教室	子ども会連合会委託事業のリーダー研修に参加し、参加者(小学校5,6年生)の仲間づくりや活動のサポートを行うボランティアリーダーを育成する。	平成27年6月～8月		中学生～30歳までの若者 約20名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		該当啓発活動	市内5か所で、「家庭の日」ののぼり旗を掲げ、あいさつ運動や啓発物の配布を行う。	平成27年11月7日		市内中高生および青少年育成団体約100名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		親子学び合い事業	市内の小中学校2校、県民会議へ推薦し、スマートフォンやインターネット使用における危険性について講師を派遣していただく。小中学生にインターネットに潜む危険性について講話を行い周知する。	平成27年5月、11月		生徒児童および保護者	一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		かめまボランティアユース(Kavy)	市内の様々なイベントにボランティアとして参加している。参加するにあたり、自分たちで企画を行い、考える力や話し合う力を養う。また、活動を通して、地域に興味を持ってもらい、地域との繋がりを強めている。	平成27年4月～平成28年3月		中学生～30歳までの若者	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		創作活動・絵画展	子ども達に自主的に体験させ、創作活動を通して創造力、協力する心を育てる。	平成27年4月～12月		市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		ノースマホ、ノーゲーム運動	スマートフォン等の使用について、「使い方の約束を家族で決めていない」、「フィルタリング機能を設定しない」小中学生の割合が高い。情報モラル育成を高めるため、関係機関や団体、家庭等が連携し啓発活動を推進していく。	平成27年10月～平成28年3月		市民	一人ひとりを尊重し命を大切にする 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
14	壬生町青少年健全育成実施委員会	青少年健全育成標語募集	青少年を非行から守り犯罪の未然防止と、更生のために援助できる標語を中学2年生に募集し、明るく住み良い壬生町をつくるための青少年健全育成活動の普及啓発を図る。	平成27年4月		中学2年生 約200名	社会の一員としての自覚を育てる
		青少年健全育成講演会	青少年健全育成実施委員会の会員を対象に講演会を開催し、青少年健全育成の重要性を理解し、会員の資質の向上を図る。	平成27年5月29日	壬生町生涯学習館	会員(約60名)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		青少年健全育成街頭パトロール活動	青少年育成指導員によるお祭り会場等で街頭パトロールを実施し、青少年が犯罪に巻き込まれないよう指導を行う。	平成27年7月11、12、8月22日、平成28年3月		青少年育成指導員(約20名)	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		青少年健全育成街頭啓発活動	青少年育成指導員によるイベント会場やスーパー等で街頭啓発活動を実施し、青少年が犯罪に巻き込まれないよう啓発活動を行う。	平成27年5月23日、10月25日、12月下旬	イベント会場	青少年育成指導員(約20名)	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		地域懇談会	自治会が主体となり、地域における青少年の健全育成について、大人から子どもまでを含めて行う話し合いや講習会を行う費用の一部を助成している。	随時		自治会	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		親子学び合い事業(携帯電話講習会)	児童、生徒及びその保護者を対象とした携帯電話講習会(スマホを含む)を開催する。未来づくり財団の指導による。 ※未来づくり財団では、各市町村民会議2校までとしているが、希望校に対しては町実施委員会が費用負担している。	平成27年6月～11月	小中学校7校	児童及び生徒、保護者(約1400名)	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
15	下野市青少年育成市民会議	親子学び合い教室の開催	児童、生徒及びその保護者を対象とした携帯電話講習会 未来づくり財団の指導による。 ※未来づくり財団では予算の関係上、各市町村民会議2校までとしているが、希望校に対しては市民会議が費用負担している。	平成27年5月21日 平成27年5月25日 平成27年7月14日 平成27年12月7日 平成27年12月9日 平成28年2月15日	国中 石中 石小 南中 薬師寺小 石橋北小	約600名 約700名 約130名 約320名 約200名 約70名	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		下野市「こども未来プロジェクト」との懇談会	市内4中学校生徒が中心となり、「自分たちの学校生活をよりよくする」ための活動をするチームと懇談。 子ども達の想い、考えを吸収する。	平成27年8月4日	下野市情報センター	40名	指針全般
		啓発活動	こども達の心豊かな成長を目指し市民に啓発を行う。 県民運動に対応した活動。	通年 強化月間及び市内で行う各種イベント開催時			指針全般
		小中学校音楽祭開催	各学校単位で合唱・演奏を披露 多くの市民にこども達の学びの姿を見ていただく。	平成27年9月19日	石橋中学体育館	児童生徒及び保護者 約1,800名	指針全般



No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
15	下野市青少年育成 市民会議	子どもなんでも発表会	市内在住のこども達が個人・グループ・お友達などと自分達が学んでいることや、特技を自由に発表する。	平成27年11月15日	薬師寺小学校 体育館	参加児童数24 組121名 来場者約200名	指針全般
		通学路危険箇所調査	市内各小学校区ごとに通学路の危険箇所調査を行い警察・行政等関係部署と連携対処する。横断幕や安全マップを作成し、新入学時を中心に各学校に配布する。		各小学校区の 通学路	小学校区地域の 市民及び関係 機関	一人ひとりを尊重し命 を大切にす る かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 手本となるよう行動す る 社会の一員としての 自覚を育てる
		記念品贈呈	市内全小学6年生を対象とした下野市児童表彰に併せ記念品(英語ノート)を贈呈。	毎年10月～11月		全12小学校の6 年生 約607名	指針全般
		青少年育成活動支援事業	市内でこども達の育成活動を行う個人・団体に対し、活動費の支援や人的支援を行う。	通年		育成活動を行う 全ての個人・団 体を対象とする 支援:1事業3万 円 毎年3事業を対 象とする。	指針全般
		広報誌“美蕾”の発行	市内約18,000世帯対象に広報誌“美蕾”(みらい)を配布。育成活動の様子、必要性をアピールする。	年2～3回発行		各回18,000部 発行	指針全般
		立ち入り調査	市内に設置されている自動販売機や大型ビデオショップ、書店、コンビニなどの状態調査。こども達の生活環境の浄化。	年2回 県南健康福祉セン ターの指導による			一人ひとりを尊重し命 を大切にす る かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 手本となるよう行動す る 社会の一員としての 自覚を育てる
		ファミリエ下野市民運動の推進	こども達の人間関係の希薄化解消。家庭における学習環境の推進。生活習慣の醸成。教育環境の充実。等々を推進するための市民総ぐるみ運動を推進する。	年4～5回程度の啓 発活動(各種イベント 開催時)や広報誌等 を通し多くの市民に 働きかける。			指針全般

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
16	日光市青少年健全育成連絡協議会	青少年リーダー研修及び自然体験事業	小学校4,5,6年生を対象とした自然体験事業を行うとともに、青少年リーダーの指導者としての実践的な力を養う。 ※日光市子ども会連絡協議会と共催	平成27年6月20日～21日	市内	小学校4.5.6年生29名及び青少年リーダー	社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		日光市青少年北海道体験研修事業	青少年リーダーを目指している小学6年生、中学1年生や青少年リーダーとして活動している中学生、高校生、大学生及び社会人が、姉妹都市である苫小牧市、観光パートナー都市である倶知安町を訪問することをおし、青少年リーダーとしての資質の向上と、視野の拡大を図る。併せて姉妹都市間、観光パートナー都市間の有効関係を強化する。	平成27年7月4日、25日、8月3～7日、23日	市内、北海道	小学校6年生、中学1年生及び青少年リーダー	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年リーダー事業	青少年リーダー育成団体への指導や支援を行い、青少年の健全育成を図る。	通年	市内	日光市内青少年リーダー育成団体(3団体)	社会の一員としての自覚を育てる
		成人式	当該年度に20歳を迎える青年男女の新しい門出を祝福するため、成人式を実施する。	平成28年1月10日	市内5会場	新成人約900名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		日光市子ども会連絡協議会	子ども会育成会活動への支援を行い、青少年の健全育成を図る。	通年	市内	市内単位子ども会(154団体)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		親子科学体験教室	「家庭の日」関連事業として実施し、親子間の交流を図る。	平成27年10月17日	市内	親子25組	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		街頭指導	街頭指導活動を行い、青少年の健全育成を図る。	通年	市内	少年指導員93名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		日光市PTA研修会	日光市内PTA会員を対象に児童・生徒の健全育成に関するテーマで研修会を実施する。 ※主催：日光市PTA連絡協議会	平成28年2月	市内	PTA会員、関係職員	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		足尾地区ウォークラリー大会	地域青少年の心身とともに健やかな成長を期し、青少年活動の向上を図る。また、地域にある文化や伝統を学ぶことを目的として、ウォークラリー大会を開催する。 ※主催：足尾地域青少年育成推進委員会	平成27年10月3日	足尾地区	約50名(スタッフを含む)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
日光市青少年健全育成連絡協議会	青少年育成団体の事業の支援を行い、青少年の健全育成を図る。	通年	市内	青少年育成団体(3団体)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ		

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
17	那珂川町青少年育成協会	青少年健全育成町民大会	青少年育成功労・善行少年などの表彰やモデル子ども会の事例発表、青少年の健全育成に関する講演会を開催し、小中学生や保護者、一般町民の方に青少年育成の問題点を認識してもらうとともに地域ぐるみでの育成を図る。	平成28年2月	小川総合福祉センターあじさいホール	一般町民	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		親子学び合い事業(小中学校等携帯電話講習会)	県青少年育成県民会議の協力を得て、町内小中学校2校で実施。携帯電話の特性や正しい利用方法についての知識の普及を図る。	平成27年9月	町内小中学校2校	児童、生徒、保護者、教職員	社会の一員としての自覚を育てる
		子ども会わくわく体験キャンプ	小中学生及び保護者を対象とした自然体験やレクリエーション等の体験活動を行うとともに、青少年リーダーと育成者の実践的な力を養う。	平成27年8月22～23日	なす高原自然の家	子ども会会員35名、育成者8名	指針全般
18	足利市青少年育成会連絡協議会	夏期教育キャンプ	キャンプを通して、自然の中での生活を体験することで自主性を身につけ、仲間との協力の大切さを学ぶとともに子ども会活動の促進を図る。	平成27年 7月18日～8月31日	名草キャンプ場	市内子ども会育成会 約200名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		子どもリーダーチャレンジ	子どもゆめ基金事業を活用し「子どもリーダーチャレンジ」と題し、自然の中で活動させることにより不自由さ、不便さを体験し、自主性と仲間との協調性を養うことで青少年の健全育成を図る。	平成27年 8月22～23日	国立赤城青少年交流の家	市内子ども会育成会 約70名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		育成会育成者指導者養成講習会	地域子ども会活動の一層の充実、発展を促すためその育成、指導にあたる者を対象に、子ども会活動に必要な知識、技能を習得させるための講習会を実施する。	平成27年6月 10・25日	足利市研修センター	市内子ども会育成会役員 約100名	手本となるよう行動する
		あんしんの家ステッカー配布事業	登下校時の児童生徒が、不審者につきまといられるなど危険を感じたときに、避難先を表示する「あんしんの家」ステッカーを作成し、協力いただける民家に配布する事業。	年間	市内・各所		一人ひとりを尊重し命を大切にす
		親子学び合い事業	生活が乱れたり犯罪に巻き込まれたりしないようにするため、携帯電話の特性と正しい利用法についての講習会を開催する。	平成27年6月2日、7月8日	市内小中学校2校	生徒児童および保護者	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め おもいやりの心をはぐくむ
		足利っ子たこあげフェスティバル	ものづくり体験活動として、「大凧・和凧創作活動」を実施し、地域の凧作り名人から凧作りを学ぶ。その活動の成果を披露する機会として凧あげフェスティバルを開催する。	平成28年1月31日	渡良瀬運動場	市内子ども会育成会 約500名	豊かな自然伝統文化を引き継ぐ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
19	小山市青少年健全育成連絡協議会	青少年の非行・被害防止全国強調月間街頭啓発	7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせ、市内のショッピングモールで啓発物を配布する。(同じく7月の「社会を明るくする運動強調月間」の啓発活動との共催)	平成27年7月4日	おやまハーヴェストウォーク	小山市青少年健全育成連絡協議会等28名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		東京海洋大学交流事業	東京海洋大学の海事普及会事業に参加し、手旗信号・ロープワーク・海の話を通じて、海なし県である当市の子ども達に海の素晴らしさ、面白さ、大切さを知ってもらおう場を提供する。また、研究船「やよい」の乗船活動を通じ、海について学び、豊かな情操を育む機会を提供する。	平成27年8月6日	東京海洋大学ほか	小山市内小学校6年生 26名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		おやま子どもフェスティバル	子どもたちが地域の大人たちや、異学年の子どもたちと、伝承遊びやものづくりを体験し、世代を超えて交流し伝統を学ぶ。	平成27年9月27日	栃木県立県南体育館サブアリーナ	小山市子ども会育成会連合会・小山市内の子ども・親・家族 約900名	一人ひとりを尊重し命を大切に 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		子ども・若者育成支援強調月間街頭啓発	11月の「子ども・若者育成支援強調月間」にあわせ、市主催イベント会場で啓発物を配布する。	平成27年11月15日	小山市中央市民会館	小山市青少年健全育成連絡協議会・小山市青少年育成指導員協議会 約30名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		小山市青少年健全育成大会	青少年の主張作文発表および記念行事を通して、青少年の今を感じ、子どもたちが安心して健やかに成長するために地域で支えあうことを、広く訴える。	平成27年11月15日	小山市中央市民会館	一般 約700名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年主張作文コンクール	青少年を対象に、家庭・学校で感じた事や社会の出来事に関する意見などをテーマとした作文コンクールを実施し、広く社会に訴えることにより、少年の意識の啓発および青少年の健全な育成に資する。	平成27年11月15日	小山市中央市民会館	小山市内在学・通学の児童・生徒 約15名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		小山ジュニアリーダーズクラブ派遣	小山市ジュニアリーダーズクラブのメンバーが子ども会・育成会の行事・イベントに参加し、レクリエーション等の指導をする。地域社会への奉仕、子どもたちとの親睦、自己の向上を目的とする。	通年		小山市ジュニアリーダーズクラブ	社会の一員としての自覚を育てる
		小山市あいさつ運動	市民が日常生活の中で「あいさつ」を交わすことにより、交流が生まれ、「ふれあいと心の豊かさ」や「郷土愛」を育み、「豊で活気があり、暮らしやすい小山」を築くために「小山市あいさつ運動」を推進する。4月と10月の強調月間にはのぼり旗を設置し、ポスター・標語コンクール表彰式・展示会を開催する。	平成27年4月、10月		市内小・中学生	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		「家庭の日」の普及啓発	生涯学習課で発行している機関誌「青少年」等に「第3日曜日は家庭の日」と掲載して、意識付けを図る。公用車にマグネットを貼り、庁内LANを活用して普及を図る。	随時			かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
20	益子町青少年育成協議会	「家庭の日」に関する作文募集	「家庭の日」に関する作文を募集し、青少年健全育成大会において優秀作品の発表を行い、家庭の絆やふれあいの大切さを広く啓発する。	平成27年7月4日	益子町民会館	507名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		青少年健全育成大会	青少年健全育成に関する講演会を開催し、地域ぐるみで青少年を育む気運を高める。	平成27年7月4日	益子町民会館	507名	社会の一員としての自覚を育てる
		有害図書等立入調査	町内のコンビニエンスストアを中心に、PTA会員・青少年育成指導員・行政職員等で立入調査を行い、図書の陳列について協力をお願いする。	平成27年7月9日 11月中旬	コンビニエンスストア等	町内12店舗	手本となるよう行動する
		青少年健全育成パトロール	祇園祭時に、青少年育成推進員・町PTA連絡協議会会員・少年指導員等の協力により街頭パトロールを行う。	平成27年7月25日			社会の一員としての自覚を育てる
21	茂木町青少年健全育成協議会	社会を明るくする運動 青少年健全育成集会	内閣総理大臣メッセージ朗読後、社明運動のチラシ・グッズを配布しながら街頭広報活動を開催。 午後から料理研究家コウケンテツ氏の講演会を開催。		道の駅もてぎ 茂木町民センター	500名 300名	一人ひとりを尊重し命を大切にする 社会の一員としての自覚を育てる
		日本サッカー協会 夢先生の開催(立川隆史氏)	元プロ野球選手(立川隆史氏)を迎えて、小学5・6年生を対象に、夢の大切さについて交流をしながら学ぶ。		須藤小学校	50名	一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		地球のステージ開催	町内の小学5、6年生を対象に講演会を行い、命の大切さを学ぶ。		茂木町民センター	330名	一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		立志式の後援	町内中学2年生を対象に、立志式に記念品を送り、各学校の行事を後援する。	平成28年2月	各中学校	120名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		社明運動・青少年の非行問題に取り組み強調月間(7月) 青少年の健全育成強調月間(11月)	のぼり旗、懸垂幕の掲揚、町報もてぎ、チラシ、茂木テレビ等により町民全体への推進。	平成27年7月 平成27年11月			一人ひとりを尊重し命を大切にする 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
21	茂木町青少年健全育成協議会	夏休み寺小屋大作戦の開催	町内の小学生を対象に更生保護女性会指導の「お絵かき教室」を3回、布の会指導の「小物作り教室」を開催します。	平成27年7月～8月	町民センター	150名	かかわりを深め おもいやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		茂木町吹奏楽の夕べ開催	道の駅もてぎを会場に、町内の小学校・中学校・高校の吹奏楽部が野外コンサートを開催します。	平成27年8月	道の駅もてぎ	800名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		もてぎ里山ウォーク大会開催	今年で4回目の開催。本町の魅力である里山をそれぞれのペースで歩き、文化財や各地区の見どころを回り地域のおもてなしを受けながらゴールを目指す。	平成27年11月	茂木町内	1,000名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		ふるさと運動学習の開催	小学5、6年生を対象に大洗町の同学年生と宿泊学習を行い互いの地区で体験学習を行う。	平成27年8月	茂木町、大洗町	50名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
22	高根沢町青少年健全育成推進委員会	小山文化スポーツ振興事業	青少年の文化教養・スポーツの振興並びに健全育成を実現するため、青少年を対象としてつぎの事業を実施する団体、個人を支援する。 ①文化教養の向上に関する事業 ②スポーツの振興に関する事業 ③国内及び国外の児童生徒又は青少年との交流に関する事業 ④その他の健全な育成に関する事業 (今年度申請団体:12団体)	通年		約2,600名	指針全般
		どろんこ道場	農作業体験を通じて、親子ふれあいの時間をつくる。また、「食」に対する正しい知識や地元農産物に対する理解を促進・普及させる。	通年		町内親子 約40名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		こどもまつり	「NPO法人次世代たかねざわ」主催のこどもまつりにおいて、高校生ボランティアグループ「高根沢リーダーズクラブ」が一つのブースを任せ、子どもたち向けの遊びを企画・運営する。	平成27年6月14日	トレーニングセンター	町内児童 約250名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		高根沢町子ども会リーダー研修会	普段と異なる環境の中、さまざまな課題に取り組むことで仲間と協力することの大切さに気付き、さらに問題解決のため自分で考える姿勢を身につけることができる。	平成27年7月25日～26日	宇都宮市冒険活動センター	町内児童・引率者 約80名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		きらきらフェスタ2015(青少年健全育成大会)	日頃頑張っている子ども達を応援することを目的とした事業。今年で10回目を迎える。町内の小学生・中学生・高校生による作品の展示やステージパフォーマンスの発表を、実行委員やボランティアが支援する。	平成27年11月21日	町民ホール	約500名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
23	那須町青少年育成協議会	第13回なすまち子どもフェスティバル	子どもたちに「遊び」、「チャレンジ」、「発表」を通して自主性や強調性を養うとともに、子どもたちと地域の連携・協力により、世代を超えた交流の場の提供、情緒豊かな子どもの健全育成を図ることを目的に「子どもフェスティバル」を実施する。	平成27年8月2日	余笹川ふれあい公園	3,000名	社会の一員としての自覚を育てる
		有害図書等立入調査	主にコンビニエンスストアの有害図書の陳列を指導する。地区推進員、青少年育成指導員の協力のもと実施する。	平成27年7月、11月		町内15名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		夜間巡回活動	夏休みの期間に町内を夜間巡回する。コンビニエンスストアや公共施設などを地区推進員や青少年育成指導員、警察官の協力のもと行う。	平成27年8月5日		町内15名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		和い輪い学習フォーラム	「家庭の日」の普及・啓発事業を実施する。 講演 演題:「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」講師:辻井いつこ ※人権フェスタと那須町PTA連絡協議会との共催事業	平成27年12月6日	町文化センター	600名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		ジュニアリーダーズクラブ育成事業	中学生・高校生のボランティアグループの活動を支援する。	通年		47名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
24	大田原市青少年育成連絡協議会	市青少年健全育成市民大会	市内小中学校の児童・生徒から青少年健全育成をテーマとした作文、標語を募集し、大会の席で表彰・発表。併せて健全育成に関する講演会を実施する。	平成27年7月4日	大田原市総合文化会館	280名	社会の一員としての自覚を育てる
		有害図書等立入調査	有害図書類等設置施設、携帯電話販売店への立入調査。	平成27年7月10日、11月9日		12名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		ふれあい子どもまつり	ふれあい子どもまつりを通して、家族のきずなやふれあいを深める。	平成27年5月5日	ふれあいの丘	3,000名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		少年指導員による夜間巡回	少年指導員と少年指導センター相談員による夜間巡回街頭指導を実施する。	平成27年7月～平成28年1月 月1回(計7回)		67名	手本となるよう行動する
		子ども情報誌「ぼけっと」の発行	市内の小中学生を対象に、地域の子どもの体験活動や家庭教育支援に関する情報誌を年3回発行し、小中学校や公共施設に配布する。	平成27年12月、平成28年3月		市内小中学生及び保護者	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
24	大田原市青少年育成連絡協議会	ありがとう運動	「ありがとう」を通して子ども達の自己重要感を高めるため、ありがとう通信を発行し、学校での取組が各家庭、各地域への取組と広がるように啓発活動に努める。	随時			かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		家庭教育支援事業	家庭教育オピニオンリーダーと連携し、就学児健康診断時に保護者を対象とした親学習プログラムを実施する。	平成27年10月～11月		就学予定児の保護者	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
25	野木町青少年健全育成協議会	青少年健全育成標語募集	青少年健全育成をテーマとした標語を募集し、優秀作品の立看板を作成し、掲示する。	平成27年6～7月			一人ひとりを尊重し命を大切にする
		青少年健全育成啓発活動	駅前広場に啓発用懸垂幕を掲示する他、町内各所に啓発用のぼり旗を掲示する。	平成27年7月・11月			手本となるよう行動する
		青少年健全育成講演会	野木町学校教育祭と共催で講演会を開催する。	平成27年11月	エニスホール	800名	社会の一員としての自覚を育てる
		街頭指導活動	本会の少年育成指導員部会のメンバーが街頭指導を実施する。	平成27年7、8、12月	夜間のイベント会場		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
26	矢板市青少年育成市民会議	あいさつ運動の実施	街頭指導の際に声かけ実施 ・あいさつ運動懸垂幕の配布(公民館・自治公民館) ・あいさつ運動ちらしの配布 ・あいさつ運動横断幕を市庁舎に設置 ・あいさつ運動看板を市内に設置	年間	市内		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		子育て学習	市内小学校就学児健康診断時に、就学児健康診断を受ける子の保護者を対象に家庭教育のあり方を見つめなおし、家庭教育力向上を目的とし、就学までの心構えを話し合う。	平成27年10月～11月	各小学校		一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		広報・啓発活動	矢板市子ども会連合会と少年指導センターが発行している啓発広報誌等に「毎月第3日曜日は家庭の日」と掲載	子ども会：平成28年3月 指導センター：平成27年7月、11月、平成28年3月			一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる



No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
26	矢板市青少年育成市民会議	家庭教育にこころセミナー	市内小中学校の保護者を対象とし、安らぎと潤いのある家庭を目指し、参加者が自分たちで活動内容を計画し、コミュニケーションを図りながら、家庭教育について学ぶ。	平成27年6月	各小中学校		一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		子育て支援センター子育てサロン	市内各保育所(園)・幼稚園・各児童館で親子で楽しく参加できる場所を提供する。	年間	市内		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		矢板市子ども地域活動促進事業	事業の一部として、市内小学生を対象とし、親子でさまざまな体験活動とおして、家族のふれあうきっかけの提供をするとともに、心豊かでたくましい子どもの育成をはかる。	年間	市内		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		市ホームページ掲載	市ホームページに矢板市で家庭の日に取り組んでいる事業の周知をはかる。	年間			一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		市役所の庁内LAN(職員用HP)掲載	庁内LAN(職員用HP)へ掲載して職員への周知を図る。	平成27年4月			一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
27	上三川町青少年育成町民会議	文化体験子ども教室(茶道・華道・大正琴・琴)	町文化協会の指導により、町立小学校の児童や町立中学校の生徒が伝統文化を体験する。	平成27年度内	各小中学校	児童約40名 生徒約350名	豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		青少年防犯巡回パトロール	町の祭り(夕顔サマーフェスティバル)にて、巡回パトロールの実施及び薬物乱用防止等の啓発物配布を行う。	平成27年7月25日	上三川町大通り	各種団体出席者40名	手本となるよう行動する
		子ども・若者育成支援強調月間の広報啓発	子ども・若者育成支援強調月間の啓発物配布を行う。	平成27年11月中	町内各地予定	町民会議委員等出席者約10名	手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
28	佐野市の青少年とともに育つ市民の会	心豊かな青少年を育む市民のつどい	未来を担う青少年が、夢や希望をもちたくましく成長するために、市民総ぐるみの青少年健全育成を推進する。子どもを中心とした活動を応援し、文化・伝統・芸能の交流を行う。	平成27年12月5日	田沼中央公民館	市民350名	社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		「いじめゼロ大人宣言」宣言の採択	『佐野市いじめゼロさのまるサミット宣言』を受け、大人が今、その思いを「どう受け止め、どう考え、どう行動していったらいいか」を具体化するためにも、いじめの未然防止に向けて大人たちが話し合い、宣言することによって学校と家庭、地域が一体となった啓発活動を全市的に推進していく。	平成27年12月5日	田沼中央公民館	市民350名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		親子学び合い事業「小中学校等携帯電話講習会」の実施	講習会を実施することで、ネット利用上のルールについて共通認識を図ることを目的とする。市内小中学校から当該講習会の参加を募り、小中各1校ずつ県民会議に推薦するほか、市民の会でも募集を行い、小中1校ずつ追加実施できるように調整を行う。	年度内	小中学校各1校	児童生徒及び保護者	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
29	塩谷町青少年育成町民会議	ウィークエンドサークル活動	子どもたちが年7回の活動を通して、工作活動・自然体験・町外活動・調理活動によって地域のつながりと郷土の特色について学ぶ。	年7回 平成27年5月～平成28年1月 土曜日		町内小学生54名 ジュニアリーダー19名	指針全般
		塩谷南那須地区ジュニアリーダー研修会	塩谷南那須地区3市3町のジュニアリーダーが研修を通して、コミュニケーションの大切さを学び、地域で活躍できるリーダーとしての心構えとスキルの向上をはかる。	平成27年7月第1日 曜日	那珂川町	地区内ジュニアリーダー48名	指針全般
		塩谷・女川ジュニアリーダー初級交流研修会	交流活動の中で、小学生を招いての実践研修を行う。また、被災地である宮城県女川町からジュニアリーダーを招いて交流することで、支え合うことの大切さと仲間との絆を大切にする心を育てる。	平成27年8月4日～6日 2泊3日	塩谷町	塩谷町・女川町ジュニアリーダー22名	指針全般
		生涯学習フェスティバル	ジュニアリーダーによるボランティアバザー・わたあめ等の提供、ダンスコーナーの発表などにより、多くの団体や地域連携の大切さを学ぶ。	平成27年11月7日～8日	塩谷中アリーナ	ジュニアリーダー、その他80名以上	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		読みかせボランティア	図書館で幼児や小学生への読み聞かせ会とレクリエーション会を中高生が企画し、ボランティア団体の方からの指導により、読み聞かせスキルの向上と、地域のお兄さん、お姉さんとして活躍することで社会の中の一員としての心を育てる。	年3回	塩谷町図書館	公募中高生15名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
30	さくら市少年指導員会	家族フェスタ	家族のふれあいを趣旨として、映画観賞、もの作り体験・昔あそび等の各種体験、展示等を行う。	平成27年8月2日	氏家公民館	主に親子	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		青少年センター体験活動	青少年センターで体験活動を企画・実施し、市内の子どもたちの健全育成を図る。(平成27年度は農業体験・自然体験・スケート体験などを実施または予定している)	平成27年5月～9月(農業体験)平成27年9月(自然体験)平成28年2月頃(スケート体験)		市内在住または通学する小学生	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年センター朝のあいさつ活動	青少年健全育成を目的として、朝市内の小中高校の校門等で、少年指導員があいさつ・声かけ活動をする。	隔月の第一水曜日の朝	市内各小中高校	市内在住または通学する中学生及び高校生	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年センター「さくら市の子どもを考える会」	青少年センターによる、青少年健全育成のための研修会・講演会等を実施。今年度は「県民のつどいinさくら」と合同開催。	平成27年11月28日	氏家公民館		一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		青少年センター広報誌「夢咲楽～和輪話通信～」発行	青少年の健全育成を主旨とした広報誌の発行。	年3回 平成27年7月、11月、平成28年2月		さくら市民	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		さくらリーダーズクラブ	会員である高校生・中学生が地域社会の一員としての自覚を高め、豊かな人間性を育むため、地域ボランティア活動・地域団体から依頼のあった支援活動等を積極的に行っている。	通年	市内公民館(定例会) 依頼のあった市内各施設・イベント等	市内在住の高校生及び中学生	一人ひとりを尊重し命を大切に かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
30	さくら市少年指導員会	さくらユースボランティア	青少年に地域活動・ボランティア活動の機会を提供するとともに、地域の住民や団体、施設との活動を通して、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組む機運を高めている。	通年		市内在中または通学する小中学生及び高校生(同年代の青少年含む)	指針全般
		ゆめ！さくら博	多様な体験・発表の場を市民に提供するイベントの中で、薬物乱用防止や青少年健全育成、児童虐待防止などの広報活動を実施している。	平成27年10月24日、25日	市公民館・体育館等		指針全般
		成人式	市内の青少年の成長を祝う式典として、青少年の健全育成に寄与している。	平成28年1月10日		さくら市民	指針全般
		喜小っ子ふれあいスクール・押小っ子ふれあいスクール	放課後の子どもたちの居場所作りとして、青少年の健全育成に寄与している。	長期休暇を除く平成27年5月末～平成28年3月	喜連川小学校体育館 押上小学校1年生教室オープンスペース、校庭	喜連川小学校・押上小学校の児童	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		チアリーディングフェスティバル	主に青少年のチアリーディングチームが多数参加するフェスティバルであり、青少年の健全育成に寄与している。	平成27年9月26日～27日	氏家体育館 氏家公民館		指針全般
		さくらキッズダンスサーズ	さくら清修高等学校ダンス部の生徒が講師となり、市内の小中学生にダンスを教える講座。	平成27年9月～10月	市内公民館	市内の小中学生	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心を育む 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		子ども絵画展	市内の保育園・幼稚園・小学校、中学校から応募された作品を展示する企画展。	平成28年1月頃			一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心を育む 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
31	栃木市青少年問題協議会	模範児童生徒表彰	学校や地域社会の諸行事等の集団活動に積極的にかかわり、より良い社会づくりに貢献している小中学校の児童・生徒に対して表彰する。	平成27年11月6日		市内小中学生(約100名)	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
32	栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部	青少年に関する研修会	青少年を取り巻く環境についての研修会	平成27年11月		役員・傘下団体(約50名)	一人ひとりを尊重し命を大切にすること 手本となるよう行動する
33	栃木市寺尾地区子ども会育成会連絡協議会	子どもフェスティバル	子ども会の会員の中から実行委員を選出し、イベントを企画。地域の中での関わりを深め、思いやりの心をはぐくみ、社会の一員としての自覚を育てるため、「子どもフェスティバル」を開催する。	平成27年8月1日	寺尾公民館	159名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
34	栃木市大平教育支所	大平クリーンアップ大作戦	かかしの里周辺のゴミ拾い活動を実施することにより、郷土を大切にすることを育む。	平成27年6月28日	かかしの里周辺	栃木市大平町青年団体連絡会とその家族一般市民	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		街頭パトロール	青少年を非行から守るために少年補導員と駐在所員による夜間巡回街頭指導を実施する。	毎週金曜日	栃木市大平地域他	栃木市大平少年補導員	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
35	栃木市大平子ども会育成会連絡協議会	リーダー研修会	小学校高学年を対象とした自然体験事業を行うとともに、青少年リーダーの指導者としての実践的な力を養う。	平成27年7月31日～8月1日	とちぎ海浜自然の家	栃木市大平子ども会育成会連絡協議会 小学生43名とジュニアリーダー4名	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		子どもフェスティバル	子ども会の小学生が実行委員となり、自らイベントを企画することで自主性や協調性を育み、連携・協力することにより情緒豊かな子どもの健全育成を図ることを目的に実施する。	平成27年11月15日	ねずみもちパーク	栃木市大平子ども会育成会連絡協議会 300名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
36	おおひらっ子ネットワーク	朝のあいさつ運動	おおひらっ子ネットワークの会員が、小学校の校門において声をかけることで、子どもの健全育成を図る。	平成27年7月7日 11月中旬	栃木市大平町 内小学校	おおひらっ子 ネットワーク	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる 手本となるよう行動す る
37	栃木市藤岡町子ども会育成会連絡協議会	子どもフェスティバル	藤岡地域の幼児から児童を対象に、物作りを学び、体験する機会を地域ぐるみで創出する。また、学年の違う子ども同士の協力・協調性を養う事を目的として実施する。	平成27年12月20日	藤岡公民館	100名	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 手本となるよう行動す る
38	都賀町のこどもを育む会	防犯活動	夜間に都賀地域のパトロールを実施する。 有害図書類等設置施設への立入調査を行う。	平成27年7月25日、8 月1日、22日、29日	都賀地域施設	40名	手本となるよう行動する
		青少年活動	つがの里山ふれあい塾、山林体験を通して、地元の自然を学ぶと同時に、親子の絆を育む。	平成27年5月10日 6月14日、20日 7月11日他	つがの里 ほか	30名	豊かな自然伝統文化 を引き継ぐ
		青少年健全育成 推進	チラシ発行による呼びかけをする。 都賀地域内の小中学校の児童生徒及び保護者から青少年健全育成に関する標語を募集し、優秀な作品については、総会時に表彰を行う。	平成27年11月 予定	都賀地域全戸・ 小中学校配布	1,000名	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ
39	にしかた子どもネットワーク	子ども夏まつり	「西方の子どもを地域みんなで育てましょう」をスローガンに、市及び青少年に関する各種団体・機関が、連携・協力する西方地域の青少年育成推進組織にしかた子どもネットワークが「子ども夏まつり」を実施する。	平成27年8月22日	西方総合文化 体育館	市内幼・小・中 学生 約400名	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ
		どんど焼き	「西方の子どもを地域みんなで育てましょう」をスローガンに、市及び青少年に関する各種団体・機関が、連携・協力する西方地域の青少年育成推進組織にしかた子どもネットワークが「どんど焼き」を実施する。	平成28年1月23日	会場未定	市内幼・小・中 学生 約400名	豊かな自然 伝統 文化 を引き継ぐ
		夜間巡回街頭指導	子ども・若者の育成支援強化月間に合わせ、こども夏まつりおよびどんど焼き時に啓発物の配布を行い、巡回街頭指導を実施する。	子ども夏まつり、どんど 焼きの日程に合わせ、会場および付 近にて実施		青少年育成補 導員 約20名	手本となるよう行動する
40	岩舟町地域青少年育成会議	町ぐるみあいさつ・ 防犯運動	週1回青パト車による町内巡回及び防犯運動を実施する。	通年(週1回)	岩舟地域内	延べ200名	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 手本となるよう行動す る
		広報活動	青少年育成町民会議広報誌「みんなで」を町内各戸に配布する。	平成27年9月 平成28年3月	岩舟地域各戸		手本となるよう行動する
		ウォークラリー大会	親子等で町内を散策しながら、ウォークラリーを行う。	平成27年11月29日	岩舟地域内	約200名	かかわりを深め 思い やりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
41	那須塩原市少年指導員会	街頭指導活動	少年指導員による街頭指導活動を行い、青少年の健全育成を図る。	通年(市内各所)		市内在住または通学する青少年	一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		子ども会育成会活動支援	子ども会育成会活動への支援を行い、青少年の健全育成を図る。	通年(市内各所)		市内子供会育成会員9,300名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		成人式	成人式を開催する。	平成28年1月10日	黒磯文化会館・三島ホール・ハロープラザ	新成人者1,228名	社会の一員としての自覚を育てる
		小中学校等携帯電話講習会	小・中学生とその保護者を対象に、携帯電話の特性と正しい利用方法について講習会を実施する。	平成27年5月29日、7月13日	関谷小学校 共英小学校	学校生徒、児童及び保護者208名	社会の一員としての自覚を育てる
		ちびっこふるさと探検隊	埼玉県新座市との交流事業を通じ、那須野が原の豊かな自然や伝統。文化を再認識してもらう。	平成27年8月6日～7日		那須塩原市・新座市5・6年生34名	豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		演劇「那須野の大地」の公演	演劇「那須野の大地」の公演を行う。	平成27年9月20日	三島ホール	来場者	豊かな 自然 伝統 文化を引き継ぐ
		西那須野産業文化祭	産業の発展と教育・文化の振興を目的に各種イベントを開催する。	平成27年10月17日～18日	にしなすの運動公園	来場者	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
親子体験チャレンジ	親子でおもちゃや飾りなどいろいろなものの製作を行う。	通年	那須野が原博物館	体験参加者	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ		
42	小山地区南部・北部子ども会育成会連絡協議会	おやま子どもフェスティバル	子どもたちが地域の大人たちと、伝承遊びやものづくりを体験し、世代を超えて交流し伝統を学ぶ。	平成27年9月27日	栃木県立県南体育館サブアリーナ	小山市子ども会育成会連合会 約900名	一人ひとりを尊重し命をたいせつにする 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
43	一般社団法人 栃木県子ども会連合会	平成27年度栃木県子ども会ジュニア・リーダー大会(研修会)	子ども会やジュニアリーダーズクラブ及び青少年健全育成団体に関わる中学生・高校生が一堂に会し、自然体験学習の指導法や子どもの育成を学ぶことを通して、個々の意識及び技術を高める。(KYT活動、班活動、バルーンアート、キャンプファイヤー、ハイキング、レク活動、炊飯活動等)	平成27年10月24日～25日	栃木県立なす高原自然の家	中・高校生 約20名	指針全般
		子ども会KYT指導者養成講習会(初級)	人間と環境の両面に顕在又は潜在する様々な危険を予知・予測、発見し、それに対処できる能力を養い、高めて、危険予知能力を高めるための指導力を身につける。	平成27年6月14日	小山市役所小山東出張所	子ども会育成者・指導者、ジュニア・リーダー 約40名	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		子ども会ジュニア・リーダー研修会	子ども会活動活性化をはかるためのジュニア・リーダー養成を目指す。(KYT研修、野外炊飯、レク活動等)	平成27年5月31日	冒険あそび場「ねずみもちパーク」(栃木市大平町)	子ども会育成者・指導者、ジュニア・リーダー 約30名	指針全般
		子ども会育成者・指導者中央研修会	子ども会活動に係わる育成者・指導者の資質の向上を図るとともに、情報を交換し合い、子ども会活動の一層の活性化を目指す。(講演会)	平成27年11月29日	栃木県青年会館(コンセーレ)	子ども会育成者・指導者 約30名	一人ひとりを尊重し命を大切にすること かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する



No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
44	横川地区こどもとふれあう会	防犯活動	一声運動で青少年の健全育成に向け、夜遅い時間に巡回活動を行っている。	随時	横川地区内公園及びゲームセンター	6名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		コスモスの種まき、移植、苗定植、飯合炊飯カレー作り、コスモスマツリ	コスモスの種まき、コスモスの苗作りの為移植作業、特に苗作りでは命の尊さを学ぶ。コスモスの苗定植、コスモス祭り、飯合炊飯カレー作りでは活動を通し世代間の交流を図る。	平成27年5月13日、6月10日、7月12日、10月25日	横川中学校 江川土手 下栗元キャンプ場	60名、60名、100名、120名、80名	指針全般
		流しそうめん	竹を使用した器作りや自立心と仲間作りを目指した活動から自然の大切さを学ぶ。	平成27年8月2日	下栗神社境内	100名	かかわりを深め おもいやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		しめ飾り作りとイモ煮会	日本古来の伝統文化を学び、体験の中からお互いに助け合い励まし合いの心と世代間の交流、親子の絆を深める。	平成27年12月5日	下栗神社	70名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		もちつき大会	日本古来の文化を目の当たりにする機会の減少から、体験を通し、楽しさと継承を目指した活動。	平成28年2月21日	下栗神社境内	200名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		居場所作り (下栗寺小屋)	児童、生徒等を中心に青少年健全育成に向けた活動で、生活の基礎基本(あいさつ、整理整頓、仲間作り等)を遊び(昔遊び)の中から学ぶ。	毎月第1、第2木曜日、毎月第3月曜日	下栗公民館	各10名	指針全般

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
45	日光市子ども会連絡協議会	子ども会育成会活動	子ども会育成会活動への支援を行い、青少年の健全育成を図る。	通年	市内	市内単位子ども会(154団体)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
46	台新田育成会・子ども会	花壇作り 花壇管理(水やり、草とり) 花壇日誌作成	横川育成会の行事である「花いっぱいコンクール」に向けて、4月上旬に種まき、6月中旬に花壇へ苗移植、7月26日の花壇コンクール本審査に向けて皆で水やりや草とりをします。市の都市緑化事業「花苗配布事業」より苗の配布もいただいております。	4月(種まき)6月～	八方公園花壇	子ども会・育成会 約100名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		天王祭 子供みこし	八坂神社例大祭(天王祭こどもみこし)を、台新田自治会の方々のご協力を頂き行っています。昔から続く子供みこし、町内を練り歩きます。みこし終了後は、境内で流しそうめんを皆で楽しみながら食べます。	平成27年7月5日	菅原神社 台新田集会所	台新田自治会 台新田育成会・子ども会 約150名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		例大祭 秋祭り	八坂神社例大祭(秋祭り)を台新田自治会主催にて行っております。屋台(わたあめ、焼きそばなど)や子ども達が楽しめるお遊び(金魚すくい、ヨーヨーつり、射的、わなげ)も開催します。秋空のもと、恒例の町内行事です。	平成27年10月25日	菅原神社 台新田集会所		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
		お楽しみ会 (X'masボウリング大会)	毎年12月のイベントとしてゴールドレーンにて、X'masボウリング大会を行っています。育成会では担当班を決め、企画、催し物(プレゼントの準備など)の手配や段取りをします。子ども達はとても楽しい活動をしています。	平成27年12月19日	市内ボウリング場	子ども会・育成会 約80名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		横川育成会主催 凧作り講習会 凧揚げ大会	横川地区の子ども会会員が一同に集まり、凧作り・凧揚げ大会を行っています。親子が協力し凧作りをします。図柄は低学年は「火の用心」中学年は「交通安全」高学年は「河川愛護」の標語をもとに作成。凧揚げを通じてレクリエーションと仲間作りなどの健全育成が目的となります。	平成27年12月13日 凧作り 平成28年1月31日 凧揚げ大会	横川地区市民センター 凧作り みずほの自然の森公園 凧揚げ大会		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
1	宇都宮御幸ヶ原地区老人協議会	小学校 放課後教室	放課後児童達が親が迎えに来る迄、安全に色々な昔あそびをして、児童が昔の事を学び文化を引き継ぐ活動。	平成27年9月7、9、14、28日 10月7、21日	小学校教室	252名	指針全般
2	総合型地域スポーツクラブ・ジョータロークラブ	慰問及び高齢者との交流会	とどもたちに高齢者を大事にして感謝のきもちをもたせるため佐野地区の老人ホームを慰問する。	平成27年6月20日	佐野市内 静山荘老人介護施設 その他	親子20名	一人ひとりを尊重し 命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる
		地域の社会貢献活動	とくにチャリーディングの子供たちが地域を元気にするため各地域で開催されるイベントに積極的に参加して社会貢献活動を実施する。	平成27年 都度実施予定	佐野市内各地	親子20名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		クラブ員との交流会及び自然体験	水の大切さや生き物の習性を学び、自然を大事にして奉仕の精神を身につけ、クラブ員のコミュニケーションをはかるため、秋山川川掃除を実施後、鮎のつかみどり、バーベキューマラソン交流会を実施	平成27年7月20日	佐野市牧町 親水公園	親子70名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		地域との交流会	マラソン世界記録にみんなで挑戦を実施。一人100mずつ走り、マラソンの距離42.195kmを423名でリレーして地域の子供たちのスポーツを通じて青少年の健全育成を図る。	平成27年11月15日	葛生秋山川河川敷	地域の子供クラブ員200名	指針全般
		清掃活動	道路と公園の空き缶ゴミ拾い。	平成27年12月6日	葛生地域及び 中運動公園周辺	親子50名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての 自覚を育てる 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
2	総合型地域スポーツクラブ・ジョータロークラブ	防災・防犯・防火意識の高揚	クラブ員に日頃から防災・防火・防犯の意識を予知できるように準備しておき意識の高揚を図る。 (協力:消防・警察・市役所・佐野市委町会)	平成28年2月27日	葛生地区公民館	親子約100名	一人ひとりを尊重し命を大切にする かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		地域づくり及び練習成果確認	ジョギング・卓球・チアリーディング、ラウンドゴルフの教室を開催してスポーツの普及とともに、お互いに助け合いの精神と技術を磨き、子供たちの健全育成、および医療費の削減をする。		葛生地区中公園トレーニングセンター	親子延べ1日100名	指針全般
3	栃木県更生保護女性連盟	子育て支援	県内全域で地区会が中心となりミニ集会等を通して地域に啓発。 モデル地区を指定し、助成金を支給。(今年度は今市地区更生保護女性会を指定)	通年	各地区で設定	県内会員約2,800名	手本となるよう行動する
		愛の募金活動	・社明強調月間(7月)を中心に募金活動を展開。集まった浄財は、①少年の主張②里親大会③社明作文コンクールへ協賛し、図書券を贈呈。 ・他に喜連川少年院、宇都宮少年鑑別所、中央児童相談所、星の家、とちぎ未来づくり財団、養護施設連合会、更生保護施設(有隣会、明德会)、被害者支援センターとちぎ、とちぎダルク、ウィメンズハウスとちぎ等15団体に資金援助している。	平成27年6月～11月	県内全域	県内会員約2,800名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		更生への協力	喜連川少年院で、月1回開催される退院者の「旅立ちメッセージ」発表会に参加し、退院者の思いを受け止め、感想を話すことで、勇気や力を与えることができばと思っている。地域に戻ってからの見守りの体制を整えていきたいと考えている。	通年	喜連川少年院	約50名	一人ひとりを尊重し命を大切にする
		行政との連携	独自に行っていた“県更女のつどい”が今年度は県との共催になる。これは県から助成を頂き、会員以外の一般参加を可能とした為です。会員研修の場を一般公開した事で、女性会の存在意義を示すことも出来たと思います。	平成27年6月	とちぎ福祉プラザ	309名(うち30名が一般人)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
4	真岡地区交通安全協会中村支部真岡市中村地区暴走族対策協議会	夜間パトロール	暴走行為の根絶と地域の安全な生活環境を守るため、地区内をパトロールする。	平成27年8月・12月		会員30名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		交通安全・暴走族追放パレード	秋の交通安全運動に協賛し、交通安全啓発と暴走族の追放・暴走行為の根絶を目指し、地区内をパレードし、交通安全啓発のため「事故なし」にあやかり地元特産のナスを配布する。	平成27年9月下旬		会員・中学生 消防団員 他 120名	指針全般
5	栃木県女性団体連絡協議会	広報活動	「とちぎ女性連盟だより」78号に「とちぎの子ども育成憲章」を掲載し、各団体に知らせた。				かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
6	足利剣友会	剣道	剣道とは「剣の理法の修練による人間形成の道」を念頭におき、剣道を通じて個人の自信・自覚・交剣知愛の心を養い、礼節を尊び、伝統を重んじて正しい剣道を学ぶ。	毎週月・水・金	足利第三中学校格技場	20名～40名	指針全般
		「座禅」	説法。心身の錬磨。	8月中旬	龍泉寺	約35名	指針全般
		「練成会」	近市各道場の子供達との試合・練習試合を行い、交剣知愛の心を学ぶ。	毎年10月上旬	三重体育館	約230名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		「合宿」	自主性を身につけ仲間との強調性・目上の者を気遣う心を養う。	毎年10月上旬	名草セミナーハウス	親子約50名	指針全般
		「節分鎧年越」(節分鎧行列)	鎌倉時代中期「約750年前」足利尊氏をさかのぼる5代前の足利泰氏が板東武者500騎を鏝阿寺南大門へ勢揃いさせたのが始まりといわれています。その伝統を継ぎ、少年誠心隊として、鎧衣装で市内公道を歩き鏝阿寺境内で追儺式を行う。	毎年2月3日	鏝阿寺	30名～	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
7	社会福祉法人 栃木いのちの電話	自殺予防を目的とした電話による相談活動	さまざまな心の危機に直面しながらも、身近に相談できる相手がなく、孤独に悩む青少年を含む一般市民のために、研修を受けたボランティアたちが、電話を通して悩みを聞き、話し相手になり、心の支えになっていく。	365日 24時間		特に制限なし	一人ひとりを尊重し命を大切にす

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
8	宇都宮更生保護女性会	紙人形しおり贈呈 (会員手作り)	市内全中学2年生(国、県、市、私立、支援学校)の立志式に会員手作りの紙人形しおり贈呈	平成27年6月～12月 (平成28年1～2月贈呈)	更女サロン、コミセン等	約60名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		ミニ集会の開催	地域に「更生保護のこころ」を広めるためミニ集会を開催する。	年間	コミセン		かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		児童養護施設「きずな」訪問	週2回午前中訪問し、未就学児とひとときを過ごす。	年間	児童養護施設きずな	1回3～5名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
9	佐野市更生保護女性会	子育て支援 チューリップ球根贈呈	市内公立保育園にチューリップ球根を贈り交流を図る。	平成27年9月14日	市内保育園15ヶ所		指針全般
		子育て支援	市内公立中学校2年生全員に、手作りしおり人形(負けないで、あなたを信じる人がいる)とみんなが見守っているというメッセージのパネルを贈呈	平成27年7月7日	市内9校	1,006名	指針全般
10	一般財団法人 栃木県交通安全協会	マロニエ号による交通安全教育	交通安全教育指導員が、幼稚園・保育所、児童クラブ、小・中学校等で交通安全教本を配付し、交通安全講話・腹話術・交通安全教育用ビデオ等を活用しながら、幼児と子供の交通安全に対する意識の向上と交通ルールの習得を図り、交通事故防止を推進する。	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	県内の幼稚園、小・中学校	約30,000名	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる
		交通安全子供自転車大会の開催	法令に基づいた正しい自転車の乗り方等を競う大会を通じて、自転車の安全走行に対する知識と技能を身に付けさせるとともに、交通安全についての興味と関心を高めさせ、その習慣化を図ることにより、交通事故防止を図る。	平成27年7月8日	鹿沼総合体育館	84名	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる
		高校生二輪車安全運転講習会の開催	二輪車運転者に対する安全運転知識の教育は必ずしも十分とはいえないため、二輪運転者を交通事故から守り、安全運転推進の基盤を作るため、高校生に対する二輪車安全運転講習会を開催し、安全運転の心構え、正しい運転操作を習得させ、交通事故防止を図る。	平成27年5月22日～ 12月7日	免許センター・自動車学校等	県内の二輪運転免許保有の高校生 706名	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる
		小学生に対する交通安全カレンダーの配布	JA共済県下小・中学生交通安全ポスターコンクールにおける栃木県交通安全協会賞受賞作品等を題材とした交通安全カレンダーを作成し、県内各小学校の児童に配布して小学生及びその家族に交通安全意識の高揚を図る。	平成27年11月	県内全小学校児童	約105,000名	一人ひとりを尊重し命を大切に 社会の一員としての自覚を育てる

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
11	栃木県小売酒販組合連合会	未成年者飲酒防止等キャンペーン	未成年者飲酒防止強調月間に合わせ、県内主要駅やイベントで、のぼり旗や横断幕を掲げ、高校生等に啓発用チラシやポケットティッシュを配布し、未成年者飲酒防止等を訴える。	毎年4月～11月	県内主要駅	県内小売酒販組合ほか6団体	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
12	社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会	地域福祉振興基金(栃の実基金)助成事業	福祉のこころ育成事業として、小・中・高校の協力を得て、児童生徒を対象に、地域における生活・福祉課題を学習し、課題解決の実践力を養う事業に助成する。	通年(活動期間2年)	宇都宮市社協、栃木市社協、矢板市社協		一人ひとりを尊重し命を大切にす
		サマースタディツアーinいわき～3月11日。あの日から4年。～	地域の将来を担う高校生が、東日本大震災の被災と復興の現状を見て、聞いて、感じるにより、記憶を風化させず、また、地元での地域貢献活動に取り組む同世代の若者と交流することで、これから何ができるかを考える機会とする。	平成27年8月21日	福島県いわき市	高校生 35名	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		(ボランティア振興事業)福祉教育推進事業	学童・生徒のボランティア活動普及のため、地域を指定して、小地域での学校を中心とした福祉教育の推進事業を支援する。	通年(指定期間3年)	市貝町社協(1年目)、大田原市社協(2年目)		一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ
		高校生サミット	東日本大震災の記憶が風化されつつある中、県内の高校生が一堂に会し、大震災がもたらしたものを今改めて「考え」「語り合い」「発見」、そして「つながる」場とすることを目的とし開催する。	平成28年3月		高校生、教職員、社協職員	一人ひとりを尊重し命を大切にす かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
13	公益社団法人 栃木県防犯協会	青少年非行防止と健全育成活動	青少年の非行問題に取り組む全国強調月間をとらえ、協会機関誌「ぼうはん栃木」にて活動の推進内容の特集し、県民への周知広報を図る。	全国強調月間 7月			一人ひとりを尊重し命を大切にす
		青少年の薬物乱用防止教室	県警察と共催による青少年への薬物乱用防止教室用において、小冊子や標語入り定規を作成、配布する。	6月～10月	県内小・中・高校	4,000名	一人ひとりを尊重し命を大切にす

No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
14	公益財団法人 栃木県保健衛生事業団	リーフレット配布	青少年健全育成に関するリーフレットの頒布に協力する。	随時	施設内		手本となるよう行動する
15	栃木県民生委員児童委員協議会	心豊かな子どもを育てる児童健全育成事業	区域担当の民生委員・児童委員や主任児童委員が地域住民と協働して、地域ならではの子育て支援や地域の親子とふれあう活動を促進する。平成27年度は10地域で実施。	通年	県内10地域	未定	指針全般
		栃木県主任児童委員活動研究協議会	子どもを守り、安心して子育てができる地域づくりを推進するため、主任児童委員が当面する課題や問題意識を共有する。	平成27年8月26日	とちぎ福祉プラザ	180名	指針全般
		民生委員・児童委員活動	各市・町民生委員児童委員協議会や法定単位民生委員児童委員協議会において、地域の実情に即して、子どもに関する課題に係る活動を実施する。	通年	県内全域	未定	指針全般
16	栃木たばこの会	未成年者への喫煙防止キャンペーン	未成年者への喫煙防止をはかるため、年3回、午前7時30分から1時間、中学生、高校生通勤者等を対象に「たばこは大人になるまで吸えません」のキャッチフレーズを印刷した携帯用「ティッシュペーパー」の配付を実施している。	平成27年6月26日、9月24日、10月22日	JR宇都宮駅西口	各1,500名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		清掃美化活動	JR宇都宮駅西口周辺から上河原町までの大通りを中心に毎月1回午前9時から1時間清掃美化活動を実施し、投げ捨て防止(吸いながら、空きカン、空ビン、プラなど)等への周知とモラルの向上に努めている。	年12回 (毎月第4木曜日)	JR宇都宮駅西口および大通り	毎月12～15名)	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		清掃美化活動	街をきれいにする清掃活動として、JTが主催する「ひろえば街が好きになる運動」(家族連れ、学生、一般の方々を事前参加受付、当日受付)に参加し、街の環境美化とマナーの大切さを周知する。	平成27年10月10日	鹿沼市中心街	300名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		未成年者喫煙防止対策協議会への出席	たばこ等に対する関係機関や団体が参加して行われている「未成年者喫煙防止対策協議会」に出席し、上記の活動内容を詳細に説明し、情報交換を実施している。	平成27年11月19日	宇都宮市	協議会出席者29名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
17	富張日の出連	富張子どもお囃子教室	富張地区で継承されている「地囃子」を地区内の子どもたちに伝承している。実技指導を通して、礼儀作法や郷土愛を育む。	平成27年7月13日～17日、11月9日～13日	富張生活センター	地区内小学生18名	豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ
18	自然体験塾運営委員会	自然体験塾	子どもたちと地域の大人たちが世代間交流を図るとともに、自然の中で昔あそびやものづくり体験などを通して、自ら考え行動する力や思いやりの心を育む。	5、7、9、11月	三島神社	小学校児童(各回100名)	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する 豊かな自然 伝統文化を引き継ぐ



No.	団体名・企業名	活動名	活動内容	実施予定年月日	実施予定場所	参加予定人数	憲章の行動指針
19	国立大学法人 宇都宮大学	子ども開放事業	様々な体験を通し、生活に必要な不可欠な森林や木材の価値を気付かせ、木材を供給する森林保全及び育成技術の必要性を理解させる。塩谷町と連携し、ジュニアリーダーによるキャンプファイア指導により、互いの連携と高学年生のリーダーシップを高める。	平成27年7月22日～23日		小学3～6年生 25名 ジュニアリーダー 14名	社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
20	那須子ども自然塾「みちくさの会」	障害者と交流事業	那須塩原市埼玉多機能事業所(心の里)交流、国際医療福祉大学ボランティア交流、餅つき体験(20年以上)	2月15日	心の里	学生ボランティア 15名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		交差点歩廊美化整備事業	花植え、道路美化運動(中学生、読書会、安全協会、福祉大生、猟友会鍋掛支部 協力)	3、4、6、12月 春秋交通安全運動 花植え		中・高校・大学生ボランティア 約50名	社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する
		親子体験型事業	農業、田植え、稲刈り、正月もちつき体験、門松作り体験を通して青少年育成事業(25年以上)	5月 田植え 9月 稲刈り 12月 餅付、門松	みちくさの会農場	50名	社会の一員としての自覚を育てる 豊かな自然 伝統 文化を引き継ぐ
		環境美化事業	小・中・高校・大学生 黒磯図書館 緑のカーテン作り指導 友達との交流青少年育成事業	5月8日	黒磯図書館	10名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		ふれあい広場交流事業	ハンディを持つ人、持たない人、子どももお年寄りもすべての人の出会い。田舎まんじゅうづくり体験、流しそうめん、かき氷、竹水鉄砲、シャボン玉、金魚すくい体験(中・大学生)	9月24日	那珂川湖畔公園 予定	15名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 手本となるよう行動する
		那須野巻狩まつり子ども広場事業	昔の遊びを通して親子体験、門松作り、竹とんぼ作り、金魚すくい、竹馬乗り、ベーゴマ、紙飛行機 中・高校・大学生	10月23日	那珂川湖畔公園	15名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		とよら公民館まつり事業	地域との交流事業参加協力 親子もちつき大会、じゃがバター、門松作り、ベーゴマ、竹馬体験、親子コミュニケーションのお手伝い	11月26日	とよら公民館	10名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる
		年忘れもちつき大会	一年間のお礼ボランティア、活動に参加協力された方の正月のもちつきと門松作り 地域の公民館、小学校、中学校に飾る	12月	若松家具店	10名	かかわりを深め 思いやりの心をはぐくむ 社会の一員としての自覚を育てる 手本となるよう行動する